

平成 28 年 2 月 20 日

岩国文化

編集 岩国市文化協会
発行 岩国市文化協会
<http://www.iwakuni-bunka.com/>
〒740-8585
岩国市今津町1-14-51
岩国市市民生活部
文化振興課内
印刷 (有) 国際総合



岩国地区吟剣詩舞道連盟 創立40周年記念大会

【主な内容】

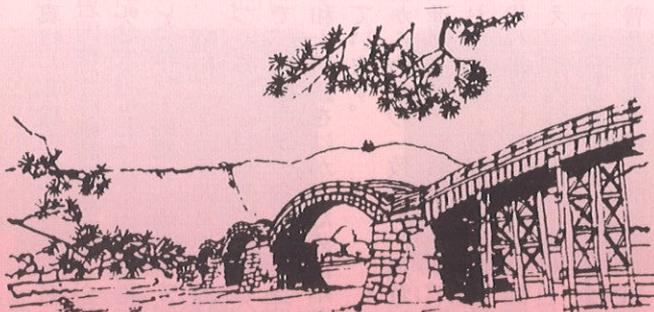
文化協会活動紹介

市民文化祭特集

文化功労賞等表彰

団体紹介

行事報告



第59回 岩国市民文化祭



7月12日 総合開会式



7月12日 音楽フェスティバル



7月19日 洋舞フェスティバル



7月26日 コーラスフェスティバル



7月30日～8月2日 近郊カメラマンたちの写祭



9月20～22日 諸流いけばな・盤景展、合同茶会



9月27日 川柳大会（県大会）



10月23～25日 俳画展



10月25日 俳句大会



10月25日 ふれあい歌の祭典



11月1～3日 秋の盆栽展



11月8日 短歌大会



11月8日 邦楽大演奏会



11月22日 演劇公演



11月26～28日 合同クラフト展



11月29日 吟剣詩舞道連盟大会



3月24～27日 水墨画展
(写真は昨年の様子)



栄えある受賞 おめでとうございます

今年度は11月3日(祝)に岩国市と岩国市文化協会の合同で表彰式を行いました。



前列右より

村中 唯久

藤間文津姫

中塚 光晴

島津 教恵

廣重 光風

三吉 忠光

吉本 宗和

館 澄子

川岡 薫

菅源 左翔

●岩国市文化協会表彰

久能賞

久能賞は、初代会長である久能寅夫先生の顕彰会からの寄付金を基金として、文化振興に功績のあった他の模範となる個人や団体を表彰するものです。

廣重 光風 (光風流山陽吟詠会岩国地区連合会)

三吉 忠光 (公財岩国の文化を育てる会)

文化功労賞

文化功労賞は、文化振興、協会、加盟団体の発展に永年貢献し、功績があった個人や団体を表彰するものです。

島津 教恵 (対岸俳句会)

館 澄子 (コール・マードレ)

中塚 光晴 (光峰流周防吟詠会)

吉本 宗和 (社)表千家同門会山口県支部岩国地区)

文化奨励賞

文化奨励賞は、芸術文化の分野で高い評価を受け、今後の活躍が期待される個人や団体を表彰するものです。

川岡 薫 (一社)茶道裏千家淡交会岩国支部)

菅源 左翔 (菅源流剣詩舞道岩国支部)

藤間 文津姫 (藤間流 藤満会)
村中 唯久 (千草流和紙ちぎり絵野菊の会) (五十音順)

●岩国市表彰

文化功労賞

岩国市文化功労賞を受賞されました皆さんのご紹介です。

前列右より

芳本 功 (団体運営)

島崎 陽子 (絵画)

片原 政子 (短歌)

小國 祥山 (団体運営)

井原 多佳子 (団体運営)



(敬称略)

団体紹介

絵画部門

岩国錦穂俳画会

当会は、昭和五十五年(一九八〇年)に全日本積穂俳画会の創始者数本積穂先生の俳画の精神と芸術性に共鳴し結成しました。その後、平成六年に皆様のご厚情により岩国市文化協会に加入、岩国錦穂俳画会として五十余名の会員で発足し現在に至っております。

加入以来、水墨画竹山会との合同展をシンフォニア岩国において毎年開催しております。

高齢化が進む現在、会員数も減少し、一般の方に俳画に触れていただく機会をと、本年度の市民文化祭では俳画制作実演を行い、多数の参加者に俳画を体験していただきました。

毎月第一金曜日の午後から中央公民館で俳画を通じて楽しく勉強しています。新しいお仲間の参加をお待ちしております。

(上田錦穂記)



書道部門

西扉印会岩国支部

平成十二年に西扉印会岩国支部として篆刻を楽しむ会を設立し、二十四年に岩国市文化協会に加入させていただきました。

平成二十三年より自分たちが愉しむだけではなく、多くの方に篆刻に親しむでいただくため、吉川史料館内の御駕籠部屋ギャラリーにて、印を彫るといふ体験教室を行っています。お陰さまで昨秋は岩国米軍基地の中からも沢山来られ、マイ印を作り、次回の開催を待つておられると聞いています。錦帯橋ゆかりの独立性易が「日本篆刻の祖」と言われていることを話しながら、横山の風情の中でのひとときは心が和みます。これからも自分たちの篆刻技術向上のための研鑽はもちろんです。一人でも多くの方に篆刻を楽しんでいただくため活動を続けていきたいと思っております。

教室は吉川史料館木菟亭において毎月二回行っています。

(大石紗夢記)



合唱部門

愛宕フラウエンコール

昭和五十九年十一月、岩国市立愛宕小学校育友会の文化活動の一環として結成。団員数は三十六名、毎週土曜日に集い楽しく練習しています。

現在、山口県合唱連盟・岩国近郊女声コーラスの会・岩国市文化協会に加盟し、

それぞれの大会に参加。本年度は平成十五年、二十一年に続き、全日本おかあさんコーラス全国大会(札幌)に山口県代表として出場を果たしました。

四代目指揮者の村上謙一郎氏には平成十一年より指導を受け「より良い音楽作り」をモットーに様々な合唱曲に挑戦しています。時にはパート練習も加え、団員一同心をひとつに、平成五年より五年に一度、演奏会も開催しています。

歌の好きな貴女、私たちと一緒に楽しい音楽作りをしてみませんか。

(沖村啓子記)



邦楽部門

生田流筑紫若樹会

昭和二十二年に藤本社中として開軒し、五十七年に生田流筑紫若樹会と改組して、現会長は二代目となります。前会長の門下生達は、各自生徒を持ち、箏・三絃を教授する一方、演奏活動も行っています。三歳〜七十歳位までの年齢層の会員が熱心にお稽古に励んでいます。

伝統文化箏親子教室・ボランティア活動として介護施設での演奏・岩国市立難中学校や米軍岩国基地ペリースクールで毎週箏の授業を行うなどのほか、岩国市邦楽演奏会や山口県邦楽大会には毎年出場しています。また、基地内でのOSCクラブ主催箏コンサートを通して米国人との親睦を深める活動も行っています。

これからの子供達が、日本の伝統楽器に触れることで、日本の文化に親しみをもち、箏を通して国際親善のお役に立てていけたらと願っています。

(藤本歌津代記)



作品と受賞者の紹介

◎第九回山口県総合芸術文化祭

第六十三回山口県川柳大会

(九月二十七日開催)

山口県知事賞

山本 貞夫

「欲一つ減らして風を丸くする」

◎岩国市民俳句大会

(十月二十五日開催)

市長賞

吉本みね子

「耕してたがやして畑守りけり」

◎岩国市民短歌大会

(十一月八日開催)

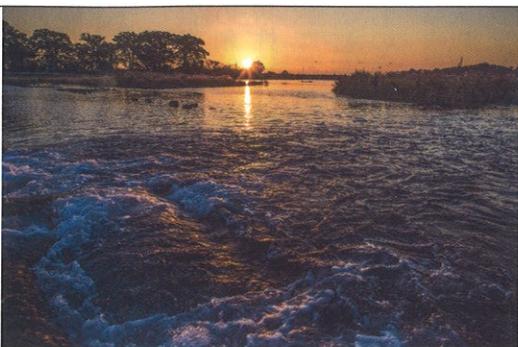
市長賞

升村喜美子

「赤ちゃんの家七軒の訪問を

終えて戻れば梔子薫る」

新・岩国百景



楠のいせき
写真・廣木敏子(写団「のら犬」)

文化協会行事報告(平成27年度)

平成27年	4月30日	第一回理事会
	5月16日	代議員会
	5月30日	春の総合文化フェスティバル
	5月31日	
	7月12日	市民文化祭総合開会式
	7月23日	第二回理事会
		第一回事業委員会
		第一回会員委員会
	8月6日	久能賞選考委員会
	11月3日	岩国市文化協会文化功労賞等 表彰式典・祝賀会
	11月25日	第一回編集委員会
	11月26日	第一回企画委員会
	12月27日	第三回理事会
平成28年	1月26日	第二回編集委員会
	1月28日	第四回理事会
	3月19日	岩国市文化芸術創造都市宣言 記念事業

『岩国市文化協会ホームページ』

会員の皆様の催し物、活動状況、新規会員の募集等さまざまな情報を発信しております。特に各種の優秀な成績などはトップページに掲載させていただきます。たくさんの情報をお待ちしています！

「岩国市文化協会」検索

文化協会役員紹介(平成27年度)

顧問	福田 良彦
名誉会長	佐々生君子
参与	岩見屋 健
会長	藤谷 光信
副会長	安東 栄一
	廣重 光風
	宮本歌千穂
理事長	北川 年明
常務理事	井原多佳子
理事	岩澤 幸子
	上田 良成
	江村 恒子
	小國 正巳
	賀屋 恍山
	晃月 恵寿
	近藤 順子
	篠原 芳弘
	田村 順玄
	中村貴美子
	二宮 信子
	浜村 瑞穂
	半田 幸男
	藤永 具視
	藤間勘三津
	藤本秀規
	宮原 賀風
	柳澤 静子
	山下 好雄
	奈迫 忠夫
	戸上 豊景
	弘中 利夫
監査	
	盆裁
	華道
	華道
	吟剣詩舞
	民謡
	邦舞
	合唱
	美術
	俳句
	短歌
	能楽
	演劇
	映像
	クラフト
	新舞踊
	邦楽
	書道
	茶道
	文学
	音楽
	歌謡

(平成二十八年一月一日現在)

五十音順

編集後記

この度、岩国市では、文化芸術振興条例を制定され、三月には、文化芸術プランの策定にあわせ、文化芸術創造都市宣言をされることとす。

私たち文化芸術に携わる団体としては、このような取組みに大きな期待を寄せるとともに、喜びにたえないところです。

条例やプラン、宣言により、市としての大きな方針が示され、総合的な施策も行われることになると思いますが、日々の暮らしの中の文化芸術の担い手は、他ならぬ私たち市民です。

これまで培った知識や経験を生かし今まで以上に研鑽を重ね、岩国市や他の団体関係者とともに、文化芸術振興を通じた輝かしい未来を切り拓いていきたいと考えます。

創造都市宣言される三月十九日には、記念事業として、澄川喜一先生、村田さち子先生によるクリエイティブ・トークを市民会館で、市および市内文化協会と共同して開催します。

記念すべきスタートの事業として、私たち文化協会の心意気を岩国市全体に示すため、最大限の努力が必要になると思っておりますので、ご協力をお願い致します。

最後に、今後とも当協会及び会報「岩国文化」へのご協力、ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(編集委員・弘兼・吉村・武重)

川野・升村)